

メール

「一人ひとりを大切に、違いは宝物」元気で笑顔あふれる学校

にしおか

NO.8



豊中市立西丘小学校「学校だより」平成30年(2018年)11月1日発行

「メールにしおか」のカラー版は、ホームページをご覧ください。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nisioka/

深まる秋 9日(金)は学習発表会(舞台発表)です!

朝夕めっきりと涼しくなってきました。澄み切った青空に浮かぶ雲もすっかり秋の様子です。盛り上がった運動会からはやひと月。この秋晴れの下、それぞれの学年では校外学習に出かけ教室ではできない学びを深めています。

今、1・3・5年生は9日(金)にある学習発表会の舞台発表、2・4・6年生は作品発表に向けての準備や練習、制作に取り組んでいるところです。学習発表会は皆で協力しひとつの物を作り上げる活動、最後まで粘り強くやり遂げる活動を通して、コミュニケーション力や共同・思いやりの態度、責任感を育むことができると考えます。そして何より、自分を表現すること、それを見てもらう、認めてもらうことが子どもたちの自信となり、次への意欲と繋がるものです。行事を通し成長していく子どもたちの姿を見守りたいです。



舞台発表は今年から児童席を2・4・6年生だけとし、保護者席を広くしました。出演学年は前日のリハーサルでお互いに見合います。当日は、是非ほかの学年の演技もご覧いただければ幸いです。

寒暖差が大きく体調を崩しやすい時期です。衣服の調節やうがい・手洗い、そして十分な睡眠等、ご家庭でもお子さんの健康管理をよろしくお願いいたします。

《お知らせ》

10月から、毎週火曜日にAETが配置されています。イギリス人のロバート先生です。英語教育コアスクールで派遣されている9中の先生と一緒に5・6年の授業に入ったり、担任と一緒に1～4年の英語の授業に入ったりしています。どうぞよろしくお願いいたします。



※11月の教育相談(臨床心理士の派遣)は、6日(火)と20日(火)14:00~16:30です。お子さんのことで気になることがある方は、遠慮なく学校までご連絡ください。

あいさつで
あいてより
いつも
さきに やさしいきもちを
つたえよう



にしおかしょうがっこうの子

にこにこ えがおが あふれる 子
しっかり まなび かんがえる 子
おもいやりが あり やさしい 子
からだと ところを きたえる 子

修学旅行 10月19日(金)20日(土)

1日目の平和公園で少し雨に降られましたが、2日目は晴天に恵まれました。事前学習をして臨んだヒロシマ、6年生の子どもたちは広島平和公園で実際に原爆ドームや原爆の子の像、資料館の見学をしたり、語り部さんのお話を聞いたりすることで、多くのことを肌で感じ、学ぶことができました。31日(水)の報告集会で下級生に平和のため自分たちに何ができるか・・・その思いを伝えました。

宿泊した仙酔島は日本で初めて国立記念公園に指定された風光明媚な所。島全体が黒・赤・青・黄・白の5色の岩でできているのです。その5色の石が拾える浜(五色岩)で拾った石でストーンペイントをしました。日本では唯一ここだけのパワースポットだそうです!



「感情コントロールの力とは」

今夏、日本教育会主催「学校心理カウンセラー研修講座」を受講した。東京学芸大 大河原美以教授の《「怒り」感情の大切さと心の健康》という講義が大変参考になった。

感情抑制の脳の機能の発達に重要なのは、「身体が感じている不快感情を発生し、大人にその感情を承認され、言語化され、安心する」という三拍子。乳幼児期から安定した親子関係の中で、身体が欲するままに泣き、抱かれ、安心するという経験を重ねてきた子どもはこの脳の機能がバランスよく育つ。虐待など不適切な養育環境にある場合は当然この経験が保証されていないので感情抑制の機能は育ちそびれる。ところが、現在日本では、良い子に育てようと熱心に子育てをする中で「きれる」という問題が生じている。弱音を吐かず頑張る子をよしとする価値観において、「身体が感じている不快感情を発生する」ことを「わがまま」と認識され、その感情は承認されず「痛くない」「怖くない」「大丈夫!」という声掛けによって、生体防衛反応が否定される。子どもは「安心」を獲得できないまま、一見適応良好な姿を示すが、親の前では「良い子」なのに、学校で「激しくきれる」という二面性を示す。あるいは、児童期には問題なく過ごしたものの、思春期以降様々な心理的問題を抱えることにつながる。という内容であった。「感情抑制の脳の機能は、大人との安心できる関係の中で育つ。ありのままの自分を丸ごと承認されたとき子どもは心から安心する。「良い子」でない愛せないという大人の存在が、きれる子を生み出している」という一節が心に残った。 ※裏面は2学期始業式に子どもたちに紹介した大河原教授の文章です。(泣いてもいいんだよ。困ったときには)